

ヨーロッパ 魅惑の小国 サンマリノ共和国

イタリア中部、アドリア海側に位置する小国サンマリノ。世界最古の共和国であり、平和と自由を重んじる軍隊を持たない国。公用語はイタリア語、民族はラテン系です。面積は東京の世田谷区ほど(62km²)で、人口は約3万6千人。世界で5番目に小さな魅力の小国についてご紹介させていただきます。



歴史

伝説によれば、ダルマチア人の石工であった「マリノ」が、カトリック教徒であったために、ローマ皇帝ディオクレティアヌスの迫害を受け、それを逃れてティターノ山に登り、ここで伝道をし、彼のもとに次第に集まっていた人々により形成された住民社会がサンマリノの起源と言われています。その「マリノ」が亡くなった紀元301年9月3日は、建国記念日となっております。(日本では弥生時代)初めは、アレngo(家長の集會を意味する)のメンバーから選出された代表者が指揮をとり、統治していました。現在施行されている、2名の執政(大統領に匹敵する役職)が6ヶ月ごとに選出される制度は、1243年、アレngoのメンバーから2名の(臨時)執政が選出されて以来、現在に至るまで、ほとんど変化なく続いています。執政就任式は毎年4月1日と10月1日に執り行われております。1253年には、最初の共和国体制が出来上がったといわれています。また、アレngoは、その後、行政および司法上の権限を、「大評議会」と呼ばれる60名のメンバー構成の議会に委譲しています。

中世を通じ、サンマリノは、自由で民主的な政治体制のもとで独立を維持し続けましたが、過去に2回だけ1503年と1739年に(いずれも数ヶ月に過ぎませんでした)外国軍の侵略を受けたことがあります。

1797年、ナポレオンより贈り物と友好の書簡が送られ、あわせてサンマリノの領土拡張の申し入れがありました。サンマリノ市民は光栄に思い、感激しましたが、領土に関しては、「現状」に満足しており、生来の国民感情にそぐわないことから、拡張の申し出を断りました。

1861年、アブラハム・リンカーンから、サンマリノ共和国の執政あてに友情と共感を示す手紙が送られ、その中に次の言葉が記されています。「貴国は小国ですが、最も尊敬すべき国家の1つです。」

サンマリノ共和国は、難民受け入れの伝統も誇っています。この自由な国家は、災難や圧政に苦しむ人々に避難場所を提供したり、援助することを、彼らの状態や信条がどのようなものであれ、一度も拒んだことがありません。第二次世界大戦の際、サンマリノ共和国は、独立、民主、そして中立を守っていますが、古来の伝統に忠実であり続けることが、同時に、時代の要請にますます敏感に反応することになっているのです。1992年3月より国連に加盟しています。日本とサンマリノ共和国の外交関係は1956年より続いています。

経済

サンマリノは鉱物資源を持たず、国土の65%が農地、森林、松林です。元来、経済は農業、酪農、石切に基盤を置いてきましたが、ここ数十年間に、軽工業、観光が大きく発展しました。サンマリノの通貨はユーロです。サンマリノ発行のユーロ通貨もありますが、硬貨のみです。サンマリノはEUのメンバーではありません。

<農産物> 小麦、大麦、とうもろこし、ワイン、オリーブオイル、野菜

<工業製品・手工芸品> セメント、合成ゴム、皮革、塗料、タイル、服、既製服、家具、陶芸品、石製・金属製・木製の手工芸品、菓子類など

サンマリノ共和国産のワインは様々な農産物と同様、政府が生産しており、その品質は国が保証しております。基本的な酒類は全て取り揃えております。また、コーヒーも政府からその品質を認められています。個性を持つ長持ちするドライケーキなど美味しい食品も多々ございます。

サンマリノは、陶器が有名で、町中のお店で手に入ります。また、切手とコインも非常に有名で首都の郵便局からでも買うことができます。さらにトランプ、タバコ、貴金属、土産物にも良いものがあります。また、サンマリノを訪れるイタリア人とサンマリノ人以外の外国人には消費税はありません。



写真左: サンマリノの国会議事堂
写真右: 国会議事堂の衛兵

世界遺産

サンマリノの中心は、それ自身が歴史的なモニュメントです。何世紀にもわたり、完壁に保存された中世の街並みは、後世への贈り物のようです。2008年7月には、首都サンマリノの歴史地区とティターノ山がUNESCOの世界文化遺産に登録されました。ティターノ山の断崖に沿って、3つの要塞の素晴らしい塔がそびえています。これらは現在も、城壁と麓の小都市から続く小道によって連結されています。城壁の内側は、石畳の通りをはじめ、建物、教会、中世の街並みなど、全てが石造りで、それらが絵のように調和して、中世の雰囲気を感じさせています。

今も市民が居住する歴史地区は国の機能が集中する政治中枢でもあり、せり立つティターノ山上に位置することから、産業発展による今日の都市化の影響を受けず、中世の街並みが保存されています。サンマリノが世界遺産に登録された大きな理由は、紀元301年の建国時から現在に至るまで、自由と平和と平等を一貫して守ってきたことにあるのです。

ちなみに、イタリアは後の1861年にイタリア王国として統一され、1946年に現在の共和国となりました。サンマリノを観光するのに良い季節は4月から10月末までです。



サンマリノワイン

① 情熱の赤(VINO ROSSO)



定価 2,800円(税込)
1ターズ(6本入り×2)

② 清浄の白(VINO BIANCO)



定価 2,800円(税込)
1ターズ(6本入り×2)

*オプション
◎1本入り紙袋 1袋 110円(税込)



◎2本入り箱 1箱500円(税込)



◎2本入り箱(布付き)1箱 700円(税込)



株式会社
ヒカリ酒販



伊勢市橋本町 248-1
TEL0596-20-2480
FAX0596-202481